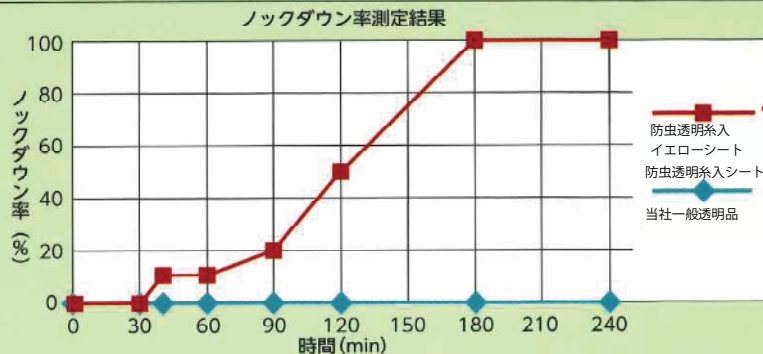


飛翔害虫に対するノックダウン試験 ※自社試験法



試験方法：シャーレの蓋面に試験体を貼り付け蓋面が底になる様にセットし、飛翔害虫10頭を強制接触させました。時間経過毎にノックダウンした固体数を計測しました。※ノックダウンは死亡ではなく気絶を表します。

不快害虫に対する忌避試験 ※自社試験法（不快害虫使用の試験例）

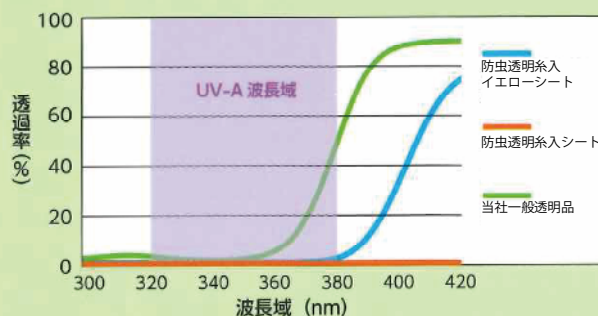
不快害虫に対する忌避効果試験図



試験体	N1	N2	N3	合計	忌避率(%)
防虫透明糸入シート	1	1	0	2	95.3
防虫透明糸入イエローシート	0	1	0	1	97.2
当社一般透明品	12	16	15	43	—

試験方法：水を含ませた脱脂綿と餌を置き、不快害虫が自由に摂取出来るようにしました。不快害虫 20 匹を試験容器に入れ、24 時間経過後、当社一般透明品および防虫透明糸入りシートのシェルターに潜伏する不快害虫の数を計数し、忌避効果を判定しました。判定する試験は、光源、温湿度差、個体差によるバラツキを考慮して、3 回の繰り返しを行いました。

波長別透過グラフ



試験体	紫外線カット率 (%)
防虫透明糸入シート	99.93
防虫透明糸入イエローシート	99.99
当社一般透明品	90.23

防虫透明糸入シートと防虫透明糸入イエローシートは皮膚癌や白内障の原因となる紫外線 (UV-A 波長：320 ~ 380nm) を効果的にカットします。

ヒトパッチテスト

試験方法：試験検体の防虫透明糸入シートを 1cm 大の大きさに切り取り、日本人男 5 名女 15 名合計 20 名の皮膚の適格性について確認後、試験検体をパッチテストユニットに載せて、上腕内側に 24 時間閉鎖貼付しました。24 時間経過後にパッチテストユニットを除去し、その 30 分後と更に 24 時間後に貼付部位の皮膚反応を評価しました。

試験結果：皮膚刺激性について上記パッチテストにて陰性（刺激無し）に分類されました。

溶出確認試験 ※自社試験法

試験方法：試験検体の防虫透明糸入シート（サイズ：10cm×20cm）を①水、②模擬海水（3.5%NaCl 溶液）が入ったサンプル瓶に投入しました。密閉したサンプル瓶を室温と 40℃ の条件下で保管し、一日毎、一週間、溶液検出確認のため、ガスクロマトグラフィー（検出器）で測定を実施しました。

試験結果：①、②のどの温度条件下においても一週間での溶剤検出は確認出来ませんでした。

※弊社ガスクロマトグラフィーでの溶剤検出限界は 0.0001g/100ml です。

耐寒性

試験方法：JIS K 6404

試験結果：マイナス 30℃ で異常ありませんでした。